

公開シンポジウム「市民と共に ミュージアムIPM」



ミュージアムIPMの重要性・必要性を広く社会へ発信すると共に、市民の理解と直接参加により達成できる成果を紹介し、その担い手であるボランティアやNPO法人等支援者達からのメッセージを地域社会へ直接伝える場とします。

九州国立博物館 1F
ミュージアムホール

参加
無料

参加募集
200名

第1部 11月28日(土) 14:00～16:00 報告会

「ボランティアから見たIPM ―2年目の活動から―」

「IPMを身近なものに ―ボランティア広報活動から―」

「博物館における露出展示資料のIPMメンテナンス」

「木質系収蔵庫のIPMメンテナンス」

「ダスト分類で見えてくる“IPM”」

第2部 11月29日(日) 10:00～15:30 講演会

特別講演

「第9回モントリオール議定書締結国会議(1997)の頃のこと」

三浦定俊(財)文化財虫害研究所理事長

基調講演

「ミュージアムのIPM コンセプトと国外の事例」

木川りか(東京文化財研究所)

「IPMプログラムとそのサポート組織 ―愛知県美術館の取り組み―」

長屋菜津子(愛知県美術館)

「持続可能なミュージアムIPMに向けて ―国立民族学博物館の取り組み―」

園田直子(国立民族学博物館)

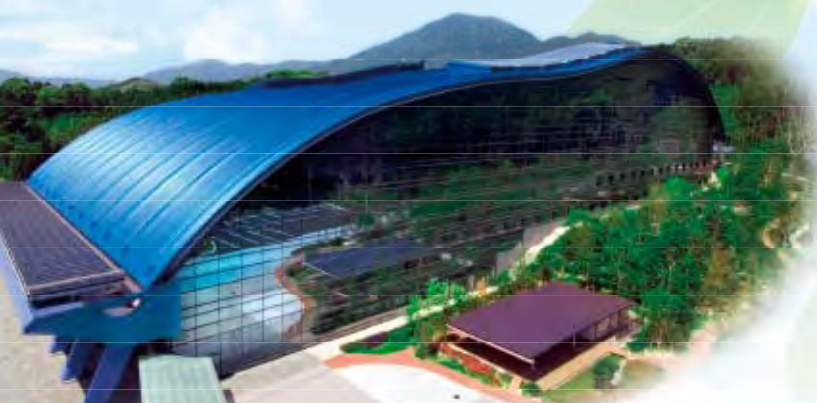
「市民と共に目指すミュージアムIPM ―九州国立博物館の取り組み―」

本田光子(九州国立博物館)

座談会

「ミュージアムとIPMと市民 モントリオールから東京・名古屋・大阪・九州まで」

三浦定俊・木川りか・長屋菜津子・園田直子・本田光子



主催：九州国立博物館

連携協力機関：太宰府市文化ふれあい館・筑紫野市歴史博物館・福岡県立美術館・久留米大学比較文化研究所・

NPO法人文化財保存活用支援センター・NPO法人ミュージアムIPMサポートセンター

お問い合わせ：九州国立博物館 学芸部博物館科学課 TEL.092-918-2838 FAX.092-918-2821



九州国立博物館
<http://www.kyuhaku.jp>

公開シンポジウム「市民と共に ミュージアムIPM」

近年、世界の美術館・博物館(ミュージアム)の虫菌害対策は化学薬剤処置から細やかな日常管理を基本とするIPM(Integrated Pest Management: 総合的有害生物管理)へと転換しつつあります。我が国でも、そうした特効薬の臭化メチルがオゾン層破壊物質として全廃されたことを契機に、従来のガス燻蒸だけに頼らない「モノ・ヒト・環境にやさしい」IPMに取り組む館が増えています。

IPMはもともと農業から生まれた考え方ですが、今や世界中で、様々な分野の環境管理のベースとなっています。文化芸術活動においても、持続可能な社会に向けて今後のミュージアムのあるべき姿の一つを示すでしょう。

九州国立博物館の生物被害対策はモントリオール議定書締結を背景に計画されたともいえます。建設段階からIPMを考え、開館前からボランティアやNPO法人等市民との協同を進めました。ミュージアムIPMには市民が直接サポートできる多様なステージがあり、社会の積極的な関心や十分な理解のもとで初めて達成できる活動でもあります。

本シンポジウムは、こうしたミュージアムIPMの役割、重要性、必要性を広く社会へ発信すると共に、市民活動の成果を紹介し、その担い手である支援者からのメッセージを地域社会へ伝える場として開催いたします。文化や歴史のあかしやこころをつたえるミュージアムは、生命や環境にも配慮した活動を支えに市民と共に歩みたいと考えます。

第1部 11月28日(土) 14:00～16:00 報告会

総合司会／下川可容子(NPO法人文化財保存活用支援センター)

14:00～14:10 開会挨拶・趣旨説明 … 本田光子
(九州国立博物館博物館科学課長)

14:10～14:30 「ボランティアから見たIPM —2年目の活動から—」
的場康彦(九州国立博物館環境ボランティア)

14:30～14:50 「IPMを身近なものに —ボランティア広報活動から—」
内田祥乃(九州国立博物館環境ボランティア)

14:50～15:10 「博物館における露出展示資料のIPMメンテナンス」
松浦顕子(NPO法人文化財保存活用支援センター)

15:10～15:30 「木質系収蔵庫のIPMメンテナンス」
柏木千恵(NPO法人文化財保存活用支援センター)

15:30～15:50 「ダスト分類で見えてくる“IPM”」
新原茂春(NPO法人ミュージアムIPMサポートセンター)

15:50～16:00 地域連携機関からのコメント
奥村俊久(筑紫野市歴史博物館)
中島恒次郎(太宰府市教育委員会)
狩野啓子(久留米大学)

閉会挨拶 … 高田裕康(九州国立博物館交流課長)

第2部 11月29日(日) 10:00～15:30 講演会

総合司会／井上理香(太宰府市文化ふれあい館)

10:00～10:05 開会挨拶 … 伊藤嘉章(九州国立博物館学芸部長)

特別講演

10:05～10:50 「第9回モントリオール議定書締結国会議(1997)の頃のこと」
三浦定俊(財)文化財虫害研究所理事長

(休憩)

基調講演

11:00～11:30 「ミュージアムのIPM コンセプトと国外の事例」
木川りか(東京文化財研究所)

11:30～12:00 「IPMプログラムとそのサポート組織 —愛知県美術館の取り組み—」
長屋菜津子(愛知県美術館)

(休憩)

13:00～13:30 「持続可能なミュージアムIPMに向けて —国立民族学博物館の取り組み—」
園田直子(国立民族学博物館)

13:30～14:00 「市民と共に目指すミュージアムIPM —九州国立博物館の取り組み—」
本田光子(九州国立博物館)

(休憩)

14:10～15:25 **座談会** 司会／森田 稔(九州国立博物館)

「ミュージアムとIPMと市民 モントリオールから東京・名古屋・大阪・九州まで」
三浦定俊・木川りか・長屋菜津子・園田直子・本田光子

15:25～15:30 閉会挨拶 … 森田 稔(九州国立博物館副館長)

[お申し込みと受付] ……定員200名・事前受付(先着)

■e-mail／九州国立博物館ホームページ(<http://www.kyuhaku.jp>)より書式をダウンロードしお申し込みください。折り返し、受付番号をメールでお送りします。

■FAXあるいは郵便(郵便の場合は必ず往復葉書をお願いします)／氏名・フリガナ・住所・電話番号・FAX番号、「IPMシンポジウム参加希望」28日・29日の両日あるいは何れかの参加日をご記載の上、お申し込みください。折り返し受付番号をFAXあるいはハガキ(復)でお送りいたします。

「市民と共に ミュージアムIPM」参加申込用紙(FAX専用) FAX.092-918-2821

住 所

ふりがな

氏 名

電話番号

()

FAX番号

()

参加希望日

28日(土)・29日(日)

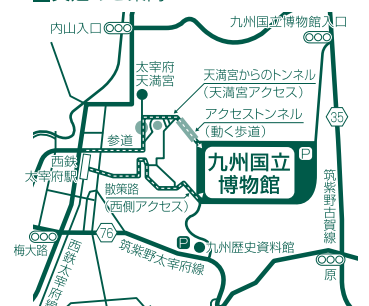
[お問い合わせ先]

九州国立博物館(福岡県太宰府市石坂4-7-2)
学芸部博物館科学課

TEL.092-918-2838 FAX.092-918-2821

E-mail: murata-t@kyuhaku.jp

■交通のご案内



駐車場(有料)に限りがあります。
ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。